



「亞留行會」行記(三)

照らす降らすの天候に恵まを進み小山に分入つて大字... 文庫を總師に二葉大人寫に問文庫主敬一郎安彦の三... 眞班を承り阿部輪店主先達氏は知人宅を訪ひやがて第... 役となり敬一郎及び記者が二ノ玉川村へ入つて大... 隨行して新たに本紙主幹の字林城の小泉宗雄氏宅を訪... 和服日和下駄で加はり向ふ時午前九時四十分、不... 彦君がボーイスクウト然の意の訪客七人の總勢に宗雄... 服装似つかはしく參じて宗彦留守の宅では驚いて一同... 眞七名賑かに全六時十五分を迎へる氏不在ながら招せ... 文庫を出發し先づ新川町角らるる盛新築間もない氏の... 大神宮へ參詣して懇話を見て辭去すれば氏の... 今日日無事を祈願して境交番は一行の爲めにわざ... 内

カメラに納めて午前十時半時御邪魔して最後のコース... 御老母様始め御家族の方を... 煩はして早目に朝食を認め... 少憩後隣接する... 子安觀世音に詣りて境... 八坂神社に並列した... 天王様を奉納の自然... 石に亦一同感心して大字... 住吉の... 遍照院へ向ひ寺内の... 不動堂に並に東接... 澤小屋稻荷神社を拜... 縣社住吉神社へ參詣... 社前に撮影し... 五里八幡へ參り藤原... 川の土手へ出て暫ら川... 川に合流する處仙臺瀧戦死... 川の合流する處仙臺瀧戦死... 者の碑前に少憩、天候は幸... 甚り勝であるがむし曇りに... 皆閉口する殊に二葉大人は... 重いかノラに群易し田畔中... 若宮八幡へ參つたがながら水一杯五十錢して... 疲れを覺えた一行には相當も欲しいと云ふ、二十四貫... 樂ではなかつた山を下りての文庫主二十貫に近き敬一... 一同歡聲をあげ現在には珍交番の御好意を謝し別れを... らしいので撮影して徑は本告げた處へ宗雄氏の戻るの... コースに入る、時折自動車に追ひ一行を見て驚欣... の瓦斯と砂埃に惱まされな... 臨濟宗禪長寺へ案内... される大同二年創草だが開演を下川へ向ふ川口に至つ... 平商工會長

諸橋敬一郎 橋本文壽 山崎清三 橋本芳太郎 平製氷株式會社 木田鐵工所 大畑鈴一郎 阿部修也 兒玉モト 磐城建物株式會社 長瀬量平 吉田庄太郎 萩原申八 古川傳一 鈴木眼科醫院 江尻寅治郎 酒井善吉 高萩コウ

西村屋藥舖 平町二丁目 長電話三番 高久病院 電話五一三番 山野邊無砂搗精米所 電話三一八番 新製品ヨツト安全剃刀 研器兼用 皮砥付 替刃三枚付 1.00 釜屋商店 電話九番・九九番 武田肉店 改名披露 助役 高崎義男 大浦村 電話一三三番 武田肉店 改名披露 助役 高崎義男 大浦村 電話一三三番